

2024年度の講義概要のデータベースを検索します。

[カリキュラムツリーへのリンク](#)

学部・研究科 Faculty/Graduate School	総情	時間割コード Course Code	70380
科目名 Course title	コンピュータネットワークの基礎	授業形態/単位 Term/Credits	秋/2
サブテーマ Subtitle		クラス Class	1
担任者名 Instructor	田頭 茂明	曜限 Day/Period	火3

授業概要 Course Description 到達目標 Course Objectives	授業種別 / Teaching Types
	講義 (対面型)
	言語 / Language
	日本語(Japanese)
	授業概要 / Course Description
	コンピュータネットワークに関する基礎技術を系統的に講義する。まず、コンピュータネットワークの歴史、原理、分類、構成技術を紹介し、ネットワークを通じて行われる情報交換のための仕組みを学習する。次に、現在主流となっているインターネットを説明し、その基盤技術であるTCP/IP、およびその上で動作するネットワークアプリケーションについて概説する。ネットワークアプリケーションにおいては、インターネット上で提供されるWWWの動作原理および関連技術、データ収集にも用いられる通信技術等について解説する。さらに、上位層から下位層まで広範囲にわたるITセキュリティ、ネットワークセキュリティについて講義する。
	学位授与方針との関係 / Related Diploma Policy
	(総合情報学部) 1.知識・技能 2.思考力・判断力・表現力等の能力 3.主体的な態度
	到達目標 / Course Objectives
	①知識・技能の観点 ・コンピュータネットワーク上で行われている情報のやり取りについて理解する。 ・TCP/IPの基本を理解する。 ・ネットワークアプリケーションについての理解を深める。 ②思考力・判断力・表現力等の能力の観点 ・教科書や資料その他を参照しながら、問題を適切に判断できる。 ③主体的な態度の観点 小テストについて、積極的に取り組める。
	授業手法 / Teaching Methods
	・教員による資料等を用いた説明や課題等へのフィードバック
授業計画 Course Content	授業計画 / Course Content
	第01回 ガイダンス 第02回 コンピュータ・ネットワークの沿革 第03回 インターネットのコア・テクノロジ 第04～06回 アプリケーション層プロトコル 第07, 08回 トランスポート層プロトコル 第09, 10回 インターネット層プロトコル 第11回 各種通信メディアとプロトコル 第12回 携帯電話を支える無線技術 第13, 14回 情報セキュリティ 第15回 まとめ
	授業時間外学習 / Expected work outside of class
	講義に臨むにあたっては、事前に教科書に目を通しておくことを推奨する。 また各授業後に小テストを実施する。
成績評価の方法・基準・評価 Grading Policies / Evaluation Criteria	方法 / Grading Policies
	定期試験(筆記試験)の成績と平常成績で総合評価する。 成績評価の際の配分割合は、定期試験：50%、平常成績(小テスト)：50%とする。
	基準・評価 / Evaluation Criteria・Assessment Policy
	①知識・技能の観点 定期試験において、授業内容を全般的に理解しているかどうかを判定する。 ②思考力・判断力・表現力等の能力の観点 与えられた選択肢の中から、適切なものを選べる能力を判定する(定期試験・小テストともに)。 ③主体的な態度の観点 小テストの受験状況・成績から、主体的な取り組みを判定する。
教科書 Textbooks	小林孝史 『コンピュータ・ネットワーク入門 第2版』 (ムイスリ出版) 978-4896413052 適宜、補助資料を配布する。
参考書 References	アンドリュー・S・タネンバウム 他 『コンピュータネットワーク 第6版』 (日経BP) 978-4296070428 情報処理学会 『日本のコンピュータ史』 (オーム社) 978-4274209338 中村行宏 他 『情報セキュリティの基礎知識』 (技術評論社) 978-4774188072
フィードバックの方法 Feedback Method	関大LMSのメッセージ機能で対応する。毎回の小テストには簡単な解説を付ける。関大LMS内の質問掲示板への投稿された質問等については、質問掲示板および次回授業の冒頭で回答する。
担任者への問合せ方法 Instructor Contact	関大LMSの「質問掲示板」または「メッセージ」で受け付ける。
備考 Other Comments	・受講生への連絡は、関大LMSの「メッセージ」を用います。